

研究計画書

ゼミ名	高ゼミ II	チーム名	K・Y・S
タイトル	日本経済と若者たち		
テーマ群	b) 財政・金融		
メンバー	利波一聖 三川直樹 田中元也 北岡浩基 藤原一友 南戸直志 長島大頭 木村友哉 山野愛		
研究計画内容	<p>「日本経済をいかに良くしていくか」を経済学部で学ぶ学生として考えていくことが我々の研究のテーマである。</p> <p>日本はバブル崩壊後、失われた 20 年といわれる長期的な経済低迷を経験した。2000 年以降、一時的に景気回復の兆しが見られたものの 2008 年、リーマンショックによる金融危機で世界同時不況へ陥り、日本国内の景気も急激に悪化した。そこに 2011 年の東日本大震災が重なり日本経済は更なる打撃を受けた。しかし、その後発足した第二次安倍内閣は経済政策、通称“アベノミクス”を推し進め、景気は回復へ向かい始めた。少なくともメディアで報道されている内容は非常にポジティブで、株価や求人をはじめとした経済指標の数値はプラスになっている。</p> <p>ここまで少し硬い表現でここ数年の日本経済を振り返ってきたが、そもそもどうしてリーマンショックが起こったの？今の日本経済は本当に良くなっているの？ニュースでよく聞く「国の借金」って何？などの根本的な疑問も改めて研究した。</p> <p>そして、それらを踏まえうえて“若者”をキーワードに日本経済が好転していくための方策を述べていく。若者に焦点を当てた理由は自分たちがこれから社会に出て働いていくことを考え、より当事者意識をもって研究に取り組めると思ったからである。具体的な内容としては雇用や教育、社会保障に焦点を当て分析し、現状の問題点とそれに対する解決策を提案していく。そして今後、日本経済がどう変化していくのかの展望とその中で若者はどのように考えて生きていくべきなのかを自分たちなりに発表していきたい。最近国と若者の将来に関して暗い予測をする声がよく聞かれる。ただ歴史を振り返ると日本やその他の国も含めて、経済が成長していく過程には常にエネルギーのある若者の存在があった。</p> <p>発表を通じて、みなさんには現在の日本経済の課題と若者の存在の重要性について伝えていきたいと考えている。</p>		